

故北島政樹先生を偲んで

慶應義塾大学医学部外科学（一般・消化器）専任講師

和田 則仁

令和元年5月21日、本学会名誉理事長・名誉会員の北島政樹先生が急逝されました。最初にその知らせを聞いたときは、数日前にお元気な姿を拝見していただけに耳を疑いました。北島政樹先生がいらっしゃらないことがまったく実感できない、そのような中で、教室葬、お別れの会、偲ぶ会など北島政樹先生に関連した行事の準備や、北島政樹先生にご指導いただきながら事務局を担当してきた万国外科学会や日本ハンガリーポーランド外科学会の事務作業等で慌ただしく過ごしてきましたが、半年が過ぎ、その喪失感をひしひしと実感させられています。

北島政樹先生は、昭和41年3月に慶應義塾大学医学部を卒業され、昭和50年3月に医学博士学位を授与されるとともに、Harvard Medical School/Massachusetts General Hospitalに外科フェローとして留学されました。本学会には昭和57年に入会され、以後ライフワークであった消化管の創傷治癒に関する研究成果を継続的に報告されています。平成元年4月杏林大学第一外科の教授に就任されましたが、平成3年5月に母校の慶應義塾大学外科学教室の教授として赴任され、その後の目覚ましい活躍は皆様よくご存じのことと思います。私自身は平成4年3月の卒業で1年間学生として指導いただきました。その後3年間、東海大学地域保健学（現・公衆衛生学）在職中に上司の岡崎勲教授（当時）と大谷吉秀先生（浦和市立病院外科、当時）にご指導いただき創傷治癒の研究に携わるようになりました。平成7年から平成13年の6年間の外科研修では直接北島政樹先生にご指導をいただく機会を得て、また当時慶應義塾大学外科にあった本学会事務局で事務局長を務めていた大谷吉秀先生にご指導いただき、消化管の創傷治癒について本学会を通して勉強させていただくようになりました。診療科職種横断的で、基礎と臨床が連携して議論を深める本学会の面白さを実感することとなりました。北島政樹先生には平成8年から12年間理事長としてご指導いただき、厳しい時代の中、学会を大きく発展させていただきました。私自身は関連病院の東京医療センターに出張に出たからは一旦基礎研究からは離れることになりましたが、平成17年10月に、大谷吉秀先生が埼玉医科大学の教授としてご栄転されたのと入れ替わりで大学に帰室することになりました。吉田昌先生が事務局を引き継いで学会のために粉骨砕身頑張っていたらしくのを微力ながら補佐させていただきました。平成19年3月に北島政樹先生が慶應義塾大学を退任され、吉田昌先生とともに国際医療福祉大学に移られて、私が事務局を引き継ぐことになりました。丁度、幾つかの難題が勃発したところでいろいろと苦勞が絶えな



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会
2019.11
No.114

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail: info@jswh.com

URL : <http://www.jswh.com>

かったのですが、北島政樹先生、北川雄光教授をはじめ多くの理事の先生方に支えていただき、難局を乗り切ることができたのが思い出されます。ご多忙の中、名誉理事長として理事会にもご出席いただき、高所大所からご指導いただきました。

北島政樹先生との思い出は数えきれないほどたくさんありますが、最近では北川雄光教授のご指導のもと私が担当した5年間にわたるAMEDの医療機器開発の大型プロジェクトではプログラムスーパーバイザーとして本当に親身になって時には厳しくご指導いただき、大きな成果を残すことができました。今後の事業化に向けてまだまだご意見を伺いたいところでしたが、その声を聞くことができないのは本当に残念でなりません。何のご恩返しもできませんでしたが、改めて北島政樹先生への感謝申し上げるとともに、安らかなるご冥福を心よりお祈り申し上げます。



北島政樹先生がアメリカ外科学会名誉会員
FACS(hon)に推戴された記念の写真
(平成21年10月、シカゴにて)

WRRに会員の論文が掲載されました

会員の論文がWound Repair and RegenerationのVolume27 Issue No.5に掲載されました。論文名、会員の著者は下記の通りです。

投稿規程に関しましては、Wiley Online Libraryの本ジャーナルホームページの機関誌概要下にある濃緑色のナビゲーションバーより、<CONTRIBUTE> ⇒ <Author Guidelines>と進んでいただくか、以下のURLへアクセスして入手してください。

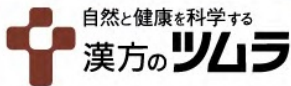
<https://onlinelibrary.wiley.com/page/journal/1524475x/homepage/forauthors.html>

なお、投稿方法は、ホームページからのオンライン投稿（要ログイン）となっております。

“Effectiveness of biofilm-based wound care system on wound healing in chronic wounds”, (*Wound Repair and Regeneration*, 27:5, P.540 – 561)

仲上 豪二郎 先生 (東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 創傷看護学分野)
北村 言 先生 (東京大学大学院医学系研究科 老年看護学分野)
峰松 健夫 先生 (東京大学大学院医学系研究科 創傷看護学分野)
真田 弘美 先生 (東京大学大学院医学系研究科 老年看護学／創傷看護学分野)

漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2017年2月制作) PPCAB02-K (商)



43%*

more granulation

Lassing MC, et al. Negative Pressure Wound Therapy With Controlled Saline Instillation (NPWT): Dressing Properties and Granulation Response In Vivo. Wounds: 2011;23:309-319.

Group	Granulation thickness (mm)
NPWT / ROCF-G (n=12 per group)	~3.2
NPWT / ROCF-V (n=12 per group)	~4.8

*P>0.05



V.A.C. VERAFLOR® Therapy

V.A.C.® Therapy

V.A.C.ULTA® 治療システム

販売名: V.A.C.Ultia治療システム
医療機器承認番号: 22900BZX00204000

NOTE: Specific indications, contraindications, warnings, precautions and safety information exist for KCI products and therapies. Please consult a clinician and product instructions for use prior to application.
©2015, 2018 KCI Licensing, Inc. All rights reserved. Unless otherwise designated, all trademarks are proprietary to KCI Licensing, Inc., its affiliates and/or licensors. PRA-PM-JP-00012 (05/18)
®はKCIの登録商標です。

製造販売元
ケーシーアイ株式会社
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル5F
フリーダイヤル: 0120-897-706
<http://www.kcij.com>

